

特定疾患治療研究事業データによる 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)発生状況の把握

研究協力者： 国立感染症研究所/東京医科歯科大学大学院脳神経病態学 多田有希

2012年までに麻疹排除
することが国家目標として
設定されている。



SSPEは麻疹の罹患により発生する疾患であり、麻疹患者数に終わらず、その後SSPE発生のなくなることの確認が重要

難治性疾患である。



診療・療養に役立つ疫学状況、臨床情報などを把握が重要

現状は・・・、

小児慢性特定疾患治療研究事業及び特定疾患治療研究事業の対象として、ある程度の状況/情報把握は可能。

しかし、情報の欠落や、折角の情報の分散により、必要な情報の把握が不十分な状況であった。



一貫したサーベイランスの実施が必要

解 説

1. 上の図や表を説明する, 簡潔な説明をここに記載して下さい。
2. できればこのように箇条書きでお願いします。